

第10日は5日、和歌山県橋本市などで行われ、ソフトボール少年女子の岡山県選抜が決勝で福岡県選抜を3-1で下し、初優勝を飾った。

バドミントン少年男子の水島工高は決勝で敗れたものの、岡山国体以来10年ぶりの準優勝。馬術成年男子六段障害飛越の木庭祥志（岡山乗馬倶楽部）が5位、山岳は成年男子リードの多久英作・中原栄（三菱ガス

化学水島工場、岡山市）が6位に食い込んだ。陸上は成年男子やり投げの中村克也（九州共立大）が8位に入り、女子400リレーが最終日の6日の決勝に進んだ。

開催地の和歌山が最終日を残して4年ぶり2度目の男女総合優勝（天皇杯獲得）を決め、東京の3年連続20度目の女子総合優勝（皇后杯獲得）も確定。天皇杯と皇后杯を別々の都道府県が獲得するのは2年連続となった。

2015 紀の国 わかやま 国体 第10日

岡山 少年女子 悲願初V

選抜チーム一丸 激闘勝ち抜く



左腕田内が右手を高々と突き上げた。ソフトボール少年女子決勝。七回2死、飛球が右翼手のグラブに収まると、マウンドへ駆け寄った岡山県選抜ナインがエースをもみくちゃにした。「絶対に歴史を塗り替えるつもりだった」と大西監督。先人たちが成し得なかった偉業をついに果たした。

準決勝を1点差で競り勝ち、迎えた福岡との決勝。2年生のバットが初栄冠への道を切り開く。二回2死三塁で「先輩たちのために打ちたかった」という南方が、右中間を破る先制の二塁打。四、六回には、安打で出塁した堤を近藤が適時打で返す形で1点ずつ加えた。投げては「腕がぶっ壊

ソフトボール少年女子で初優勝を飾り、歓喜する岡山県選抜の選手たち。橋本市南馬場緑地広場（村上達也）

左腕田内が右手を高々と突き上げた。ソフトボール少年女子決勝。七回2死、飛球が右翼手のグラブに収まると、マウンドへ駆け寄った岡山県選抜ナインがエースをもみくちゃにした。「絶対に歴史を塗り替えるつもりだった」と大西監督。先人たちが成し得なかった偉業をついに果たした。

春の全国選抜準優勝の創志学園高のメンバーを軸に、6校の選抜で挑んだ今大会。予備員を含め一人一人が役割を果たし、「一つになった」と大西監督が評するチームは強豪との激闘を丸でくぐり抜け、過去最高の3位を更新する頂点へ一気に上り詰めた。白球を一心に追った3年間を有終の美で飾り、主将の重石は「このユニホームが似合っていると言われることがうれしい」。胸の「Okayama」が輝いて見えた。

ソフトボール	
▽少年男子準決勝 長崎(選抜) 0000010000 愛媛(選抜) 0000010000	▽同決勝 長崎(選抜) 1001000002 愛媛(選抜) 0001000003
▽成年男子決勝 愛知(選抜) 2-0 熊本(選抜) 知は5年ぶり6度目の優勝	▽同決勝 長井(広) 0020000012 岡山(選抜) 0010000012
▽成年女子決勝 神奈川(日立) 3-1 群馬(選抜) 神奈川は2年連続9度目の優勝	▽同決勝 打 長井、菅田(広) ▽少年女子準決勝 岡山(選抜) 0020000012 北海道(とわの森三愛高) 0010000012
▽本塁打 中重(広)	▽同決勝 打 岡田望、田内(岡)山根、広瀬(北) ▽同決勝 岡山(選抜) 001010103 福岡(選抜) 000001013
▽三塁打 脇長(愛) 二塁 本、木下	▽同決勝 福岡(選抜) 000001013 福山(福)山田、黒木、草場、坂

郷土勢の天皇杯順位 (5日現在)

岡山	11位 (1207.5点)
広島	22位 (994.5点)
香川	30位 (878点)

▽二塁打 南方、堤(岡)
▽岡山は初優勝
▽天皇杯得点 ①愛知138 ②岡山74
▽皇后杯得点 ①福岡86 ②岡山74